



横浜水道長期ビジョン・中期経営計画

暮らしとまちの未来を支える横浜の水

平成 28 年 3 月
横浜市水道局

策定にあたって

横浜水道は、明治 20 年の創設以来 129 年にわたり安全で良質な水を市民の皆さまにお届けしており、昭和 35 年に創設された工業用水道事業とともに、今日では重要な社会インフラとして 370 万人を超える市民の皆さまの暮らしと都市活動を支えています。

これまで水道局では、平成 18 年 7 月に策定した、「横浜水道長期ビジョン・10 年プラン」を事業運営の基本的な指針としてきましたが、水道事業を取り巻く環境は、水需要の減少や東日本大震災の発生など、この 10 年で大きく変化しています。

このような中であっても、老朽化施設の更新・耐震化はもとより、災害対策の強化、環境・エネルギー対策、地域の課題解決の支援や市内経済の活性化への寄与、国内外の水道事業者への技術協力など、求められる役割に的確に応えていく必要があると考えています。

そこで、今後も持続可能な事業運営を進めていくため、20 年後から 30 年後の事業環境を見据えて、お客さまや事業に関わる皆さまと共有すべき将来像とその実現に向けた取組の方向性を分かりやすく描いた「横浜水道長期ビジョン」とその実施計画である「中期経営計画（平成 28 年度～31 年度）」を策定しました。

策定にあたっては、市会をはじめ、有識者や市民の皆さまで構成する「横浜市水道事業の将来を考える懇談会」、そして「パブリックコメント」など、様々な形で多くの方々から幅広い御意見をいただきました。特に長期ビジョンについては、市民の代表である市会の皆さまと課題認識を共有しながら策定を進め、議決をいただきました。御意見をお寄せくださった皆さま、熱心に御議論いただいた市会の皆さまにこの場を借りて御礼申し上げます。

今後は、「横浜水道長期ビジョン・中期経営計画」に沿って事業を着実に推進し、時代や社会の変化に柔軟に対応しながら、より安全で良質な水をいつでも御利用いただけるようサービスの向上を図るとともに、事業を支えてくださる関係者の皆さまとの協力関係の下で事業運営を進め、お客さまに信頼される水道を次世代に引き継いでまいります。

今後とも、皆さまの御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

平成 28 年 3 月

目次

I 横浜水道長期ビジョン

第1章 横浜水道長期ビジョンの位置付け	2
第2章 横浜水道の歩み	4
第3章 将来の事業環境	6
1 水道事業を取り巻く外部環境	6
(1) 人口の動向	6
(2) 水需要の動向	7
(3) お客さまの生活様式の変化	8
(4) 想定される自然災害	9
(5) 環境・エネルギー問題	10
(6) 国内の水道事業の状況	11
(7) 海外の水事情	12
2 水道局の内部環境	13
(1) 施設の課題	13
(2) 財源の課題	14
(3) 組織・人材の課題	16
第4章 目指す将来像	17
1 基本理念	17
(1) 背景	17
(2) 基本理念の考え方	17
2 基本姿勢	18
3 各領域における将来の姿	19
(1) 「住宅」について	20
(2) 「地域」について	24
(3) 「都市」について	28
(4) 「広域」について	32
(5) 「国際」について	36
第5章 取組の方向性	39
1 安全で良質な水	40
2 災害に強い水道	40
3 環境にやさしい水道	40
4 充実した情報とサービス	41
5 国内外における社会貢献	41
6 持続可能な経営基盤	41

Ⅱ 横浜水道中期経営計画（平成28年度～31年度）

第1章	はじめに	44
1	横浜水道中期経営計画の位置付け	44
2	計画の進行管理	45
3	横浜市の水道の仕組み	46
第2章	事業計画	48
1	安全で良質な水	52
2	災害に強い水道	62
3	環境にやさしい水道	74
4	充実した情報とサービス	82
5	国内外における社会貢献	90
6	持続可能な経営基盤	98
第3章	財政収支計画	110
1	水道事業会計	110
2	工業用水道事業会計	116

Ⅲ 資料

1	策定経過	122
2	御意見をいただいた有識者や市民の皆さま	123
3	水道に関するお客さま意識調査	124
4	パブリックコメントの実施概要	125